

イデックスオイルレポート ~For a week~

2022/2/10作成 (株)新出光

【概況】<ウクライナ情勢が懸念されるも、対イラン制裁解除による需給緩和が材料視される>

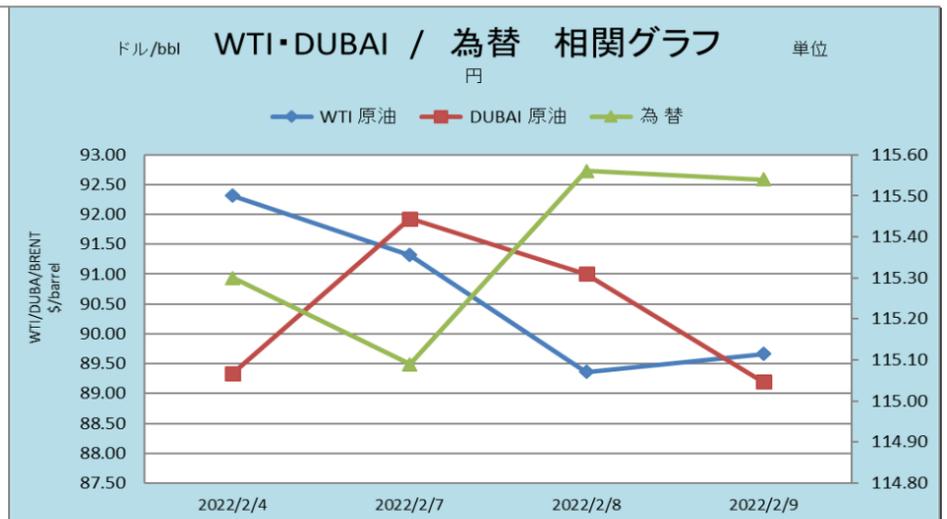
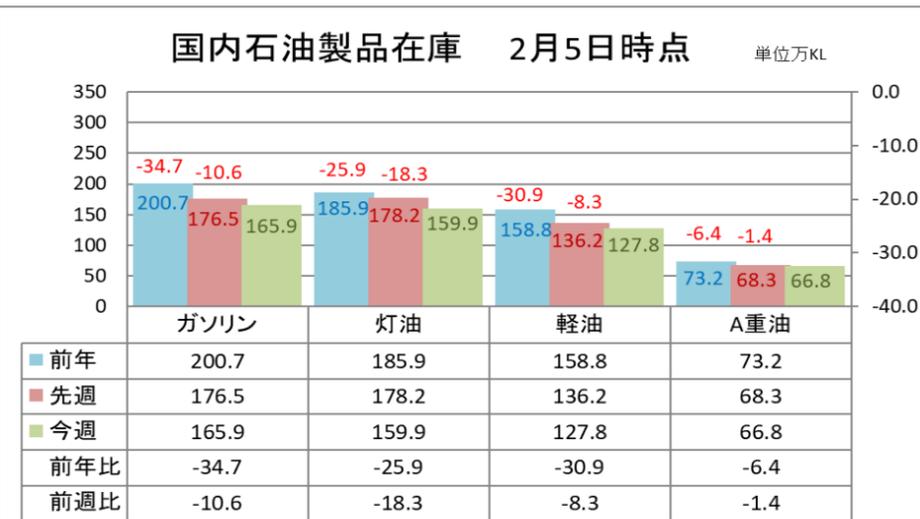
●4日、米中部・北東部は暴風雪に見舞われ、大雪の影響で、テキサス州とニューメキシコ州にまたがるパーミヤン盆地でのシェールオイル生産が停止するとの警戒感が台頭し、WTI原油で90.33ドルまで上昇しました。ウクライナ情勢やOPEC+が追加増産を見送ったことも原油相場を下支えしています。

●7日、イラン核合意再建をめぐり、英仏独中ロとイランの合意当事国は、次官級の合同委員会をウィーンで開催します。イランへの制裁が解除されれば、イラン産原油が市場に回帰するとの思惑から原油が売られました。高値を更新し続けていたため、利益確定の売りも出てきたことも要因となっています。

●8日、イラン核合意再建に向けた交渉が再開されることで、仮に交渉が妥結し対イラン制裁が解除されれば、世界の原油供給量の約1%に当たる日量約100万バレルのイラン産原油が国際市場に再流入するとされ、供給逼迫が緩和されるとの見方が台頭したことで、相場は大量の利益確定の売りに押され、WTI原油で90ドルを割り込みました。

●9日、EIAが発表した原油在庫は前週比480万バレル減と、市場予想の40万バレル増に反して大幅な取り崩しとなりました。これを受けて、イラン核合意の再建に向けた協議進展への思惑からの売りが後退し、原油が買い戻され上昇しました。ガソリン在庫は160万バレル減(同予想160万バレル増)、ディスティレート(留出油)は90万バレル減(同予想170万バレル減)でした。

2月10日 17:00現在 WTI原油 89.86ドル 為替 1ドル 115.60円



	次回元売変動予測 2/17~	前週比実質 変動予測
ガソリン	➡	+0.5~+1.0
灯油	➡	+0.5~+1.0
軽油	➡	+0.5~+1.0
A重油	➡	+0.5~+1.0
LSA	➡	+0.5~+1.0

【製品卸価格】<月末見据え販売攻勢強まる>

《今週》今週の元売り仕切り改定は3社ともに原油コスト「+2.0円」、補助金「-5.0円」となり、実質「+0.7円」の値上げ改定となりました。資源エネルギー庁の公表する全国レギュラーガソリンの7日時点の小売価格の平均が171.2円となり、燃料油価格激変緩和措置が継続されています。改定後コスモ玉での補助金を活用した値下げの動きもあり、エリアによっては市況が下がった地域も見受けられました。

《2月11日以降》次回の元売り改定は、現状での原油コスト「+0.5~+1.0円」に補助金は上限の「-5.0円」が入り、前回の元売り仕入れから、実質で「+0.5~+1.0円」の小幅値上げとなる予測です。改定後のコスモのラグ玉が無くなり、安値は切り上がりましたが、2月の営業日数の少なさから月末での販売競争になる可能性があり、それを避けるために、3連休で売りを強めたディーラーも多くいるようで市況の上昇幅が抑えられました。また関東甲信や中京地区では積雪に備えて、SSへの駆け込み需要も一部ではあるようです。

※原油コスト「+0.5~+1.0円」
 激変緩和補助金「-5.0円」
 ※現時点での予測です。

【次世代エネルギー】<賃貸マンションの駐車場でEV充電>

ユビ電(株)は野村不動産のプライベート投資法人の居住施設「プラウドフラット巣鴨Ⅱ」において、EV充電コンセントをマンション共用部駐車場に設置し、駐車場を契約している居住者向けの充電サービスを行う、WeCharge電気自動車充電サービスを導入し、2022年1月より運用を開始しました。マンション付属の駐車場全4区画にコンセントを4機設置し、契約者はいつでも充電が可能となっています。EVの充電に関する課題は、充電設備が少ないだけでなく、今後EVが普及した場合に起こるであろう電力需要の集中に備え、国内でダイナミックプライスによる充電を分散する取り組みが進められています。すでに欧州では始まっており、太陽光発電による余剰電力が生まれる昼間や、電気使用量の少ない深夜に分散することで、電力需要の平準化を図り、価格の高騰が抑えられ、消費者にとっても安く購入できる可能性があります。

[出典]

- ① <https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUC190UY0Z11C21A2000000/>
- ② <https://www.jiji.com/jc/article?k=000000014.000063033&g=prt>